

(様式 1-3)

福島県 (富岡町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	20	事業名	富岡町復興まちづくり計画策定事業	事業番号	(1)-10-2
交付団体	富岡町	事業実施主体 (直接/間接)	富岡町		
総交付対象事業費	(154,516 (千円)) 157,002 (千円)	全体事業費	(154,516 (千円)) 157,002 (千円)		

帰還環境整備に関する目標

富岡町災害復興計画(第二次)の基本理念を具現化するため、早期・将来的に帰還を目指す町民、更には帰還しない町民と町のつながりを維持・醸成するための具体的な施策を構築し、富岡町災害復興計画(第二次)を軸とした総合的な施策を展開することで、あらゆる町民の意向を尊重し、町民とのつながりを維持する。

事業概要

富岡町災害復興計画(第二次)の基本理念を具現化するため、早期・将来的に帰還を目指す町民、更には帰還しない町民と町のつながりを維持・醸成するための具体的な施策を構築し、富岡町災害復興計画(第二次)を軸とした総合的な施策の整理・点検など、平成28年12月20日付閣議決定された、「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針について」に基づき、新たなまちづくりを進めるため、駅前にぎわいづくり計画策定、帰還困難区域再生に向けた調査を行う。

また、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、災害時における防災機能強化に取り組み、確実な避難に資するため、総合的な対策を推進し、防災・安全を確保した都市形成を進めるため、防災まちづくり拠点施設の整備に係る基礎調査を行う。

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください【富岡町災害復興計画(第二次) P103 第7章 「計画の推進」、P62 第5章「分野別の具体的な取り組み」に位置付けられている】

当面の事業概要

<平成 29 年度>

計画策定業務 40,880 千円 … (第 16 回申請)

【駅前にぎわいづくり、帰還困難区域再生に向けた調査の 2 事業】

基礎調査業務 2,486 千円 … 第 18 回申請

【防災まちづくり拠点施設の整備に係る基礎調査】

地域の帰還環境整備との関係

町の復興拠点となる曲田地区を中心としたまちづくり及び町内帰還を促進するための第 3 の道の施策事業を具現化することにより、町民の帰還意識や新しい町民の定住が促進されるとともに、必要となる居住環境が復興拠点と位置付けた曲田土地区画整理事業により確保され、将来の魅力ある拠点整備や町民とのつながりなど、暮らし・仕事・地域活性化に繋がる。

関連する事業の概要

曲田土地区画整理事業

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県 (富岡町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	23	事業名	富岡産業団地整備事業	事業番号	(6)-46-2
交付団体	富岡町	事業実施主体 (直接/間接)	富岡町 (直接)		
総交付対象事業費	(483,963 (千円)) 499,206 (千円)	全体事業費	(483,963 (千円)) 499,206 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
低線量地区へ産業団地の整備を推進することで、進出企業の早期操業の促進と、町外で仮設対応を余儀なくされている町内の事業者や様々な事情により町内での再開が困難な事業者の操業の場を確保し、町の復旧・復興に欠かす事の出来ない新たな産業の創出及び帰還・定住人口の確保に必要な不可欠な安定的な雇用創出を図る。					
事業概要					
地域産業団地整備の促進による受け入れ態勢の強化・拡充を図り、企業の新規立地、地元企業の帰還を促進することで、新たな産業構造の確立と積極的な事業再開・発展を後押しする。 また、産業の集積を図ることで、町内外の事業者が一体となって事業を行うことによる相乗効果が得られ、事業の再開のみならず、新たな産業及び新規事業の創出を図るもの。					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください 富岡町災害復興計画(第二次)において、第 3 章基本方針を実現するための重点プロジェクト「3-3. 「イノベーションコースト構想」拠点施設などの誘致・具現化」の中で本事業を推進する内容を位置づけている。					
当面の事業概要					
<平成 29 年度> 測量設計、実施設計、A=350,000 m ² … (第 16 回申請) 工業用水水道管実施設計 φ150 L=4.6 km … 第 18 回申請 <平成 30 年度> 用地の取得、造成工事					
地域の帰還環境整備との関係					
富岡町は震災・原発事故から 5 年を経過した現在も避難の継続を余儀なくされており、就業の場が失われ、復旧・復興に欠かす事の出来ない「雇用の場」の確保は急務である。立地条件としても国道 6 号線に隣接し、常磐自動車道富岡 IC 及び平成 29 年末までに開通予定の JR 常磐線富岡駅、町の復興中核拠点からのアクセスも良好である。更に、平成 29 年 3 月竣工予定のイノベーション・コースト構想拠点施設である廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟との相乗効果により、新たな産業集積、地元企業の発展も期待され、まさに富岡町の経済の中核を担う町の復興を加速化させる事業である。 町は各関係機関と連携した積極的な企業誘致活動と、町内事業者の再開及び事業改変支援を実施することで、帰還・再開する事業者及び就労人口の拡大を図り、地域経済の活性化・地域再生及び帰還・定住人口の増に繋がる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県 (富岡町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	35	事業名	富岡第一中学校校舎改修事業	事業番号	(1)-15-2
交付団体	富岡町		事業実施主体 (直接/間接)	富岡町 (直接)	
総交付対象事業費	(134,802 (千円)) 187,641 (千円)		全体事業費	(134,802 (千円)) 257,641 (千円)	

帰還環境整備に関する目標

富岡第一中学校校舎の整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、平成 30 年度の学校再開に必要なインフラ整備を行う。

また、復興拠点に隣接することから、公的機能の回復を行い、帰還環境の整備を図る。

事業概要

富岡第一中学校は福島第一原子力発電所事故により、全町避難し長期放置のため外壁の劣化等が進行し、落下の恐れがあり安全確保を図る必要がある。また、原子力災害に伴う避難指示によって放置されたために老朽化、劣化した建築・電気設備・機械設備をそのまま放置することで、被害は拡大することから、平成 30 年度に公立学校施設を再開するための大規模改造工事(外壁クラック改修・塗装、床材張替、建築・電気設備・機械設備改修)を実施している。

工事着手した結果、天井の下地材の劣化等がみられることから、子どもが安心して学べる教育環境を整備するため、天井、照明の改修を行う。

また、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による全町避難の教訓を踏まえ、緊急時に十分対応できる学校施設として整備する。

○富岡第一中学校校舎改修工事 134,802 千円 … (第 16 回申請)

○富岡第一中学校校舎改修工事(天井・照明) 52,839 千円 … 第 18 回申請

【富岡町第災害復興計画(第二次) P41 第 3 章プロジェクト 4-1 子どもたちの意向と尊重と子どもの教育環境の整備】

【富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン～復興拠点整備計画～】

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

当面の事業概要

<平成 29 年度>

富岡第一中学校校舎改修工事

【外壁クラック改修・塗装、床材張替、建築・電気設備・機械設備改修】 … (第 16 回申請)

【天井・照明改修】 … 第 18 回申請

<平成 30 年度>

富岡第一中学校校舎(北校舎)改修工事【特別教室等の内壁・床改修】

地域の帰還環境整備との関係

富岡第一中学校校舎の整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、帰還に必要なインフラ整備を行う。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	39	事業名	富岡第一中学校プール整備事業（基金型）	事業番号	(1)-15-4
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）		
総交付対象事業費	226,572（千円）	全体事業費	226,572（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
富岡第一中学校プールの整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、平成 30 年度の学校再開に必要なインフラ整備を行う。					
事業概要					
富岡第一中学校は全町避難による長期放置のため劣化等が進行したことから、平成 30 年度に公立学校施設を再開するため、校舎及び体育館の改修工事を実施している。					
原発事故による長期避難により老朽化・劣化したプールの解体跡地に、プール本体、機械設備の新築工事を実施し、子どもが安心して学べる施設の整備を行う。					
また、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による全町避難の教訓を踏まえ、緊急時に十分対応できる学校施設として整備する。					
○ 富岡第一中学校プール整備工事 226,572 千円					
【富岡町第災害復興計画(第二次) P41 第 3 章プロジェクト 4-1 子どもたちの意向と尊重と子どもの教育環境の整備】					
【富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン～復興拠点整備計画～】					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 29・30 年度>					
富岡第一中学校プール整備工事を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
富岡第一中学校プールの整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、帰還に必要なインフラ整備を行う。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	40	事業名	富岡第一中学校プール(上屋)整備事業（基金型）	事業番号	(1)-15-5
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）		
総交付対象事業費	196,019（千円）	全体事業費	196,019（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
富岡第一中学校プールの整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、平成 30 年度の学校再開に必要なインフラ整備を行う。					
事業概要					
富岡第一中学校は全町避難による長期放置のため劣化等が進行したことから、平成 30 年度に公立学校施設を再開するため、校舎及び体育館の改修工事を実施している。					
原発事故による長期避難により老朽化・劣化したプールの解体跡地に、プール本体、機械設備の新築工事と併せて、放射線に対する不安を払しょくし、落ち葉や砂塵等による汚染を未然に防止するため、また、地域開放に資するため、上屋の整備を行う。					
また、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による全町避難の教訓を踏まえ、緊急時に十分対応できる学校施設として整備する。					
○ 富岡第一中学校プール(上屋)整備工事 196,019 千円					
【富岡町第災害復興計画(第二次) P41 第 3 章プロジェクト 4-1 子どもたちの意向と尊重と子どもの教育環境の整備】					
【富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン～復興拠点整備計画～】					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 29・30 年度>					
富岡第一中学校プール(上屋)整備工事を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
富岡第一中学校プール(上屋)の整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、帰還に必要なインフラ整備を行う。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 7 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	41	事業名	富岡第一中学校校舎トイレ改修事業	事業番号	(1)-15-6
交付団体	富岡町		事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）	
総交付対象事業費	61,938（千円）		全体事業費	61,938（千円）	
帰還環境整備に関する目標					
富岡第一中学校校舎の整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、平成 30 年度の学校再開に必要なインフラ整備を行う。 また、復興拠点に隣接することから、公的機能の回復を行い、帰還環境の整備を図る。					
事業概要					
富岡第一中学校は福島第一原子力発電所事故により、全町避難し長期放置のため外壁の劣化等が進行し、落下の恐れがあり安全確保を図る必要がある。また、原子力災害に伴う避難指示によって放置されたために老朽化、劣化した建築・電気設備・機械設備をそのまま放置することで、被害は拡大することから、平成 30 年度に公立学校施設を再開するための大規模改造工事(外壁クラック改修・塗装、床材張替、建築・電気設備・機械設備改修)を実施している。 上記工事と併せて、長期間避難により維持管理が行えず劣化したトイレの改修を行い、子どもが安心して学べる施設の整備を行う。 また、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による全町避難の教訓を踏まえ、緊急時に十分対応できる学校施設として整備する。 ○ 富岡第一中学校校舎トイレ改修工事 61,938 千円 【富岡町第 3 次災害復興計画(第二次) P41 第 3 章プロジェクト 4-1 子どもたちの意向と尊重と子どもの教育環境の整備】 【富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン～復興拠点整備計画～】 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 29 年度> 富岡第一中学校校舎トイレ改修工事を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
富岡第一中学校校舎の整備を行い、子どもが安心して学べる教育環境をつくることで、帰還に必要なインフラ整備を行う。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					